



10月号

平成27年9月30日

横浜市立東中田小学校

校長 芝 フク代

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>



笑う門には福来る

～小学校生活の大きな思い出・修学旅行から～

校長 芝 フク代

職員玄関前の金木犀がいい香りを放ち、朝から笑顔になれる幸せな季節になりました。

今年も9月27日には御霊神社の例大祭が盛大に行われました。今年は大人と子どもの神輿も出る長いコースで、本校の子どもたちや卒業生の中田中の生徒たちもお神輿を担がせて



いただいたり、山車を引かせていただいたりしました。みんなで声を出して力を合わせて張り切っている子どもたちの笑顔は、今年一年の幸せを招いてくれているようでした。いつも子どもたちの幸せを願ってくださっている地域のみなさんの温かさを感じ、またまた感謝の気持ちでいっぱいになりました。

6年生にとって小学校最後の宿泊を伴う日光修学旅行に9月8日と9日、行って来ました。ちょうど台風が関東地方に接近していました。でも雨台風ということで2日間とも雨には降られましたが、横浜で心配して

いただいたようなこともなく予定していた華厳の滝も湯滝もちゃんと見る事ができました。いつもの2倍の水量に「わあ。凄い水の量。」とその迫力に驚き、感動した様子でした。戦場ヶ原の散策はできませんでしたが、湯元までバスで行き、竜頭の滝も上から見てとホテルにも晴れたコースと同じ時刻の到着となりました。「星の宿」では、ふくべ細工を経験しました。ふくべとは、夕顔の実で、この果肉をむいて干したのがかんぴょうです。栽培されるふくべの大半は未成熟の段階でかんぴょうに



され、種取り用のふくべだけが大きく成熟されるまで育てられるそうです。種は成熟した



ふくべの一部をくり抜いて取り、中を空洞にして乾燥させると皮が固く引き締まって細工物の材料となります。ふくべ細工は廃物利用でもあり、稲作に恵まれない台地に生きる農民が生み出した生活の知恵でした。ふくべ細工は魔除けの要素も含んでいて、今では置物や入れ物にも使われ、商品としても売れるようになり、人々の生活に役立っています。子どもたちが熱中して作ったふくべ細工は、各々の思いがこもった

同じものが二つとない独創的な素敵なものばかりでした。出来上がったふくべ細工を見ながら、みんなにっこり笑顔になるそんな栃木の伝統工芸に親しんだ、忘れられない思い出となりました。2日目の日光東照宮の見学も大雨でしたが、予定していた三猿や眠り猫、奥社、鳴竜などもすべて見学することができました。雨の2日間でしたが、「一生忘れられない。また大きくなったら日光に来たい。」と笑顔で話していました。宮の前公園到着寸前まで大雨だったにも関わらず、6年生が到着したらきれいな虹が…！虹を背景に子どもたちのさわやかな笑顔で2日間の修学旅行を終えることができました。

これからも学年のテーマ「大樹」を目指し、東中田小の代表としてみんなで一致団結して「笑う門には福来る」を忘れないで、笑顔で頑張ってもらいたいと改めて思いました。